

## ウキアゼナの発見

平井 屯  
(愛媛県松前中学校)

1981年8月26日に愛媛県伊予郡松前町の塩屋の休耕田でウキアゼナを発見した。文献にもなく愛媛県新記録種ではないかと考えられたので、今治明德短大の山本四郎先生に報告し同定していただいたところ、新記録種であった。

さらに神戸大学の角野康郎先生にも私信として連絡したところ「岡山県の他に福岡県でも生育が確かめられておりますが、四国では多分はじめてであろうと思われま

す。」との御返答を得た。さらに発表をすすめられたので概要を報告しておきます。

休耕田の水深は3cmくらいで浅く砂質土壌である。近くの水路は夏のみ水流があり、冬は枯れた川となる。文献によると、水田に浮んだ状態とみられるが、ここでは水田土壌面にはりついて群生していた。まわりの水路にも分布せず、4ヶ所とも休耕田にあった。開花しており、1反歩の2割くらいを占めていた。周辺にある水田雑草は、アゼナ、アメリカアゼナ、アオウキクサ、ウキクサ、キカシグサ、キシユウスズメノヒエ、タマガヤツリ、チョウジダテ、テンツキ、マツバイ、ミゾカクシ等である。こ

こには、サカマキガイの生息が認められるが、ヒメモノアラガイの大発生している休耕田であった。用水路のとなりにある休耕田には侵入していなかった。

松前町における分布を続いて調査したところ、図のように4メッシュに生育が確認された。丸でかこまれた黒丸のメッシュが上の初見地である。この他町内各地に休耕田はあるもののウキアゼナの生育はなかった。当地方への侵入定着後あまり年数をへていないとの印象をうけた。1970年末期の侵入であろうと思われる。

10月には葉が黄変しているので、1年草と考えられる。コナギやウリカワのような水田雑草として定着し分布を拡大させるか、今後の観察をまたねばならない。農業用水路への定着例はなく、コカナダモのような分布拡大はないものと考えている。

この短報は、トヨタ財団の資金援助を得ている調査の一部である。各種の御援助に対して感謝しています。

## 参考文献

1. 山本四郎 愛媛県産植物の種類 1978
2. 長田武正 原色日本帰化植物図鑑 保育社 1976

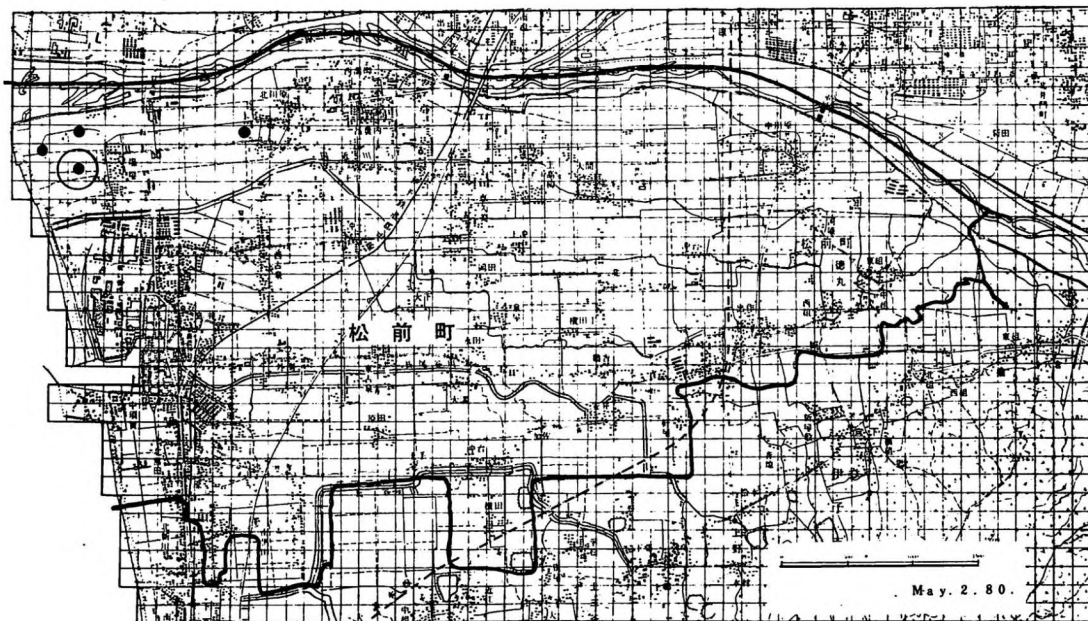


図1. ウキアゼナの分布。